

612.11-H82ウ



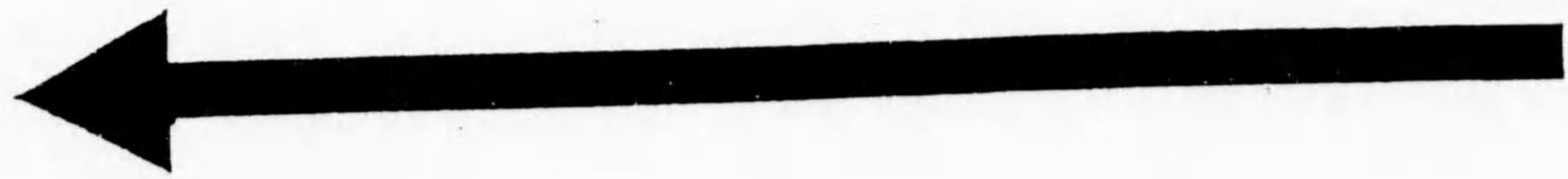
11  
2

北海道の地帯別農業に関する調査資料

北海道農會編



始





9  
8

資料第三十七編

612.11  
H82

北海道の  
地帯別農業に関する調査資料

北海道農會



## 序

北海道に於ける地帯別農業確立の問題は最近内外の情勢相呼應して重要問題として登場するに至つたので茲に既存資料の一部及特に本會にて郡農會を煩し調査せる資料を集録して指導界の参考に供するここにした次第である

昭和十五年十二月十日

北海道農會長 村 上 元 吉

### 一 北海道に於ける地帯別農業問題の擡頭と其の重要性

北海道農業は七十年の歴史を経て今や漸く開拓農業より脱し、技術的にも模倣と、吸収と、依存の時代より一步を進めて北進大和民族獨特の創意を發揮高揚し、創造建設への所謂飛躍的創建の段階に入つたものと謂ひ得るのであつて、斯かる北海道農業の發展過程よりして當然概念的農業合理化方針より進み、適地適營の立地性を確實に具體化す可き必要性よりして地帯別農業經營設定の問題は今日の農業新體制の日程として現はれたのである。

加ふるに我國戰時農産物の需要は青年北海道の生産に待つもの多くして、聖戰途上國家所要の計畫生産的任務は累加し來り。

本道農業統制上 時局作物及畜産物の長期生産確保上よりして地帯別農業の的確なる指標を必要とするに至つたのであつた。更に國家は躍進日本の總力戰體制の基本として

國土計畫 の立案が提唱せられ一方大陸と相關連して内地農業再編成問題を通じて適正規模問題が農業指導界を動かし、之が具體化の方策を地方廳に懇懇せらるゝに至り之等の機運は戸塚長官をして北海道綜合開發計畫の創意立案にまで動かし斯界の權威を動員して北海道の

綜合開發 に竿頭一步を進むるの時期を迎ふるに至つた。

斯くて開かれたる綜合企劃に關する農畜産部の専門委員會の意見は、種々に互つたのであるが、其の直接農業生産に關する重要なものとしては「地帯別農業經營の確立とその發展に關する重點的農政問題」と「土地改良の綜合飛躍的進展」等が論議立案の中心となつて登場し來たつたのである。過去に於て北海道に於ける地帯別農業經營に關する

一應の技術的設定 は北海道農事試驗場に於て既に大正年間にて別表の如き三海面區十二農業地帯として之等を公表し、爾來北海道農業界は意識下と無意識下とを問はず一應之を以て農業合理化の推進據點として今日に至つたのである。しかし乍ら元來適地適營なる語は一般によく極めて平易に或は不用意に概念的に使はるゝ言葉であるが、農業技術の上より之



を觀ればしかも簡易なものであり得ないのであつて、又不變と稱せらるゝ氣候、土地等の自然要因に於てさへも嚴密に之を謂へば時の變化を避くること難く又經濟的條件及社會的條件、技術的條件に至つては常に水の流るゝが如く進み動きつゝ進化するものである。しかも過去に於て設定せられたる三海面區十二農業地帯なるものも之を重點として農業政策が集注的に推進せられたることは極めて少く、多くは單に農業指導の概括的目標であつた場合が多かつたのである。

斯くて

**農業政策に強度に具現**

す可き農業地帯設定の問題は近時内外呼應急速に北海道農業界に漲り來つたのである。斯かる狀勢下に於て本道農業の生産指導を擔當する北海道農會及戰時農業生産擴充期成會は之等の動向に従ひその機運を促進して

**地帯別農業の再研討**

とその政策化を目指し、先づその一段階として系統農會主として郡農會を動員して現下各郡（支廳）管下に於て指導方針として樹てつゝある郡下の農業地帯問題を取り上げて之が調査を進めたのである。

叙上の如く地帯別農業問題は最近著しき北海道農業界を刺戟し、見ようによりては時代の花形の一つとして登場し來つたのであり之が研究と政策化は全く將來に待つ可きであるが、今此の問題に關し差當り考らるゝことは地帯別農業設定とその設定階層の問題であらう。

**設定階層**

既に一應三海面區十二農業地帯は古くより道農業界に提示せられて貴重な議題とし農業界の基本としての歴史的役割を果して居るのであるが、今後考らるゝ問題は自然的經濟的社會的條件に關連してより強くより深く、關連攻究を要する問題は道及支廳行政區乃至町村自治區との有機的關連性が中心たる可きであつて、即ち先づ道の行政上より見て一道十四支廳行政區の中間層に稍條件の近似する一數支廳をブロックとする處の全區を四―五或は六の

**大農區を設定**

す可きではあるまいか。斯る大農區設定の問題は道の農業政策特に綜合開發計畫等に於て地方農業の重點を把握して適切なる道農業政策を具現する上に極めて緊要なることと思ふものである。而して

第二の階層として研究の對照となるは本地帯別農業調査資料に取り上げたる支廳行政區管内に於ける地帯別農業の設定問題であつて即ち自然的經濟的社會的條件に於て相共通する

**數町村をブロックとする中農區設定の農業地域問題**

であらう。

斯くて第三階層は各町村行政區に於て稍條件を等しくする數部落を單位とする地帯別農業の小農區設定の問題ではあるまいか。

斯る階層別に農業地帯を設定することは道、支廳、町村等各々の管下に於ける農業の立地性に基く適地適營の目標を明確にし農業行政を其の各々の重點に向つて的確に集注し得ることとなるであらう。

以上の外各種の觀點より農業地帯設定の問題は研討せらる可きであらうが、本資料の目的とする處は既に述べたるが如き情勢下に於て取不致各支廳、郡管下の地帯別農業調査を取纏め斯種問題の研討資料の一部たらしめんことを期し總ては今後の研究に待たんとするものである。

**二 北海道の地帯別農業に關する既存重要資料**

北海道農事試験場の調査立案を基礎とし北海道廳に於て大正八年時代既に定めたる地帯別農業に關する調査資料の重要部分を次に集録して參考に供する。

大正年間に北海道廳に於て設定せる自然要素より觀たる農業地方區分大綱

氣候區	農業地帯 (主として氣候による中區分)				土壤區 (氣候、地形、地質、作物、育況による小區分)		主として經營式	摘 要
	地形	普通土壤地帯	酸性土壤地帯	火山灰地帯	泥炭地帯	土壤、地形、地質、作物、育況による小區分		
(1) 渡島國及膽振國有珠郡地方	山地地帯	+	+	+	+	約一三〇區の見込	穀菽農	一、山地帯高山帯と低山地帯とに分つ又此の中には山麓を便宜包含せし
	段丘地帯	+	+	+				
	沖積地帯	+						



區面海クツーホオ			區 面 海 本				
(12)	(11)	(6)	(5)	(4)			
宗谷地方	網走地方	石狩天鹽兩國 内陸地方	石狩國沿海及 天鹽國沿海南 部地方	羊蹄山麓地方			
沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯			
+	+	+	+	+			
+	+	+	+	+			
	+	+					
+	+	+	+	+			
込	込	見込	見込	見込			
約四〇區の見	約六〇區の見	約三〇〇區の見	約一五〇區の見	約三〇〇區の見			
主畜農	混同農	穀菽農	穀菽農	混同農			

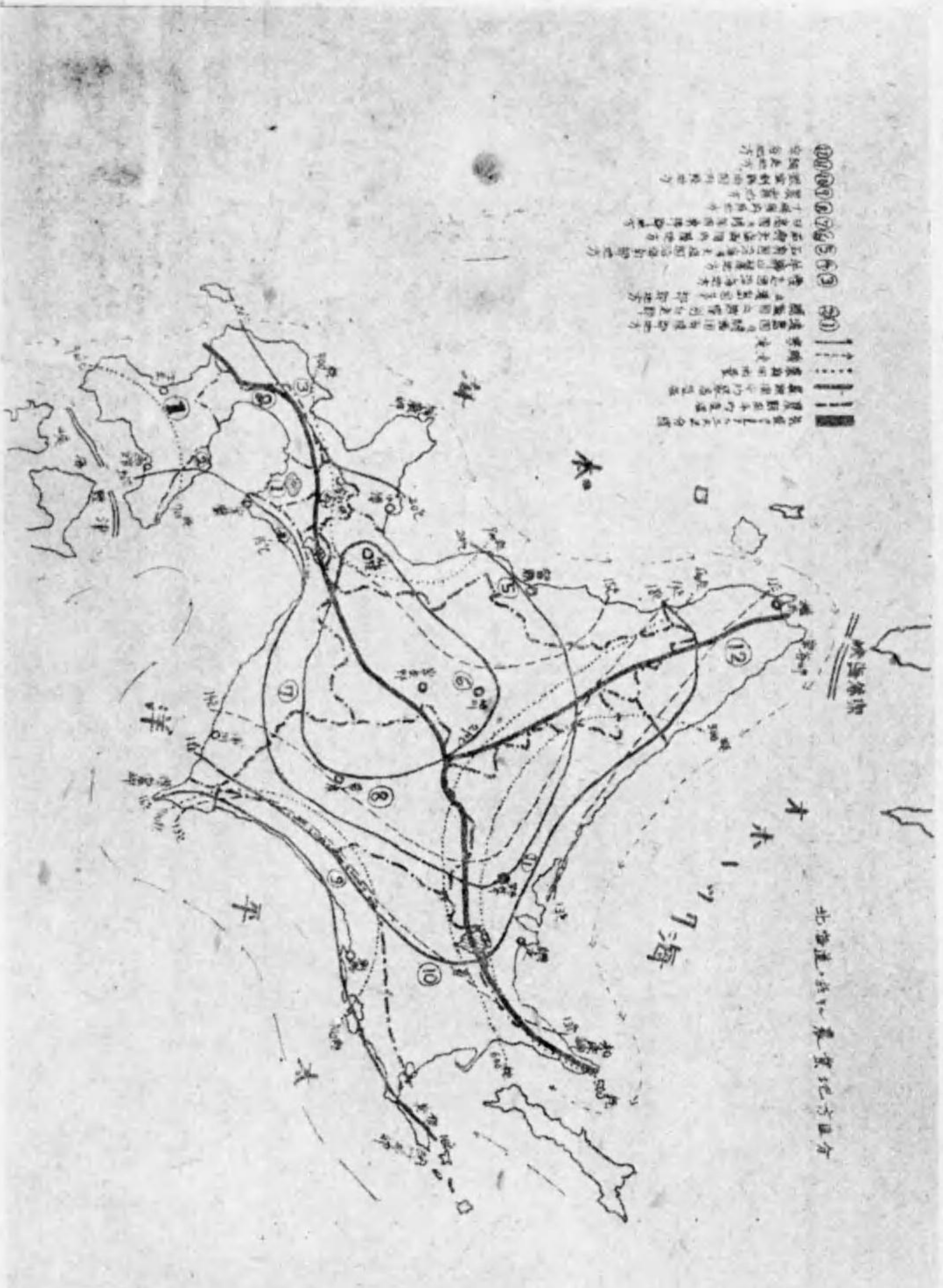
日	區 面 洋 平 太				
(3)	(10)	(9)	(8)	(7)	(2)
後志國沿海地 方	根室釧路兩國 内陸地方	濃霧地方	十勝國內陸地 方	日高國及膽振 國勇拂郡地方	膽振國山越峴 別白老郡及渡 島國茅郡地 方
沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯	沖積地帯 段丘地帯 山地帯
+	+	+	+	+	+
+	+			+	+
	+	+	+	+	+
+	+	+	+	+	+
見込	込	込	見込	込	込
約一二〇區の見	約六〇區の見	約五〇區の見	約一九〇區の見	約七〇區の見	約八〇區の見
穀菽農	主畜農	主畜農	混同農	混同農	混同農

四  
めたり  
二、段丘地高位段地帯と低位段地帯とに分つ  
三、酸性土壤は無機質土壤のみを示す、普通土壤及火山灰土の範圍に屬するものなるも特に其の酸性強烈なるを以て別に一地帯として區分せり  
四、+印は比較的廣く分布せるを示す

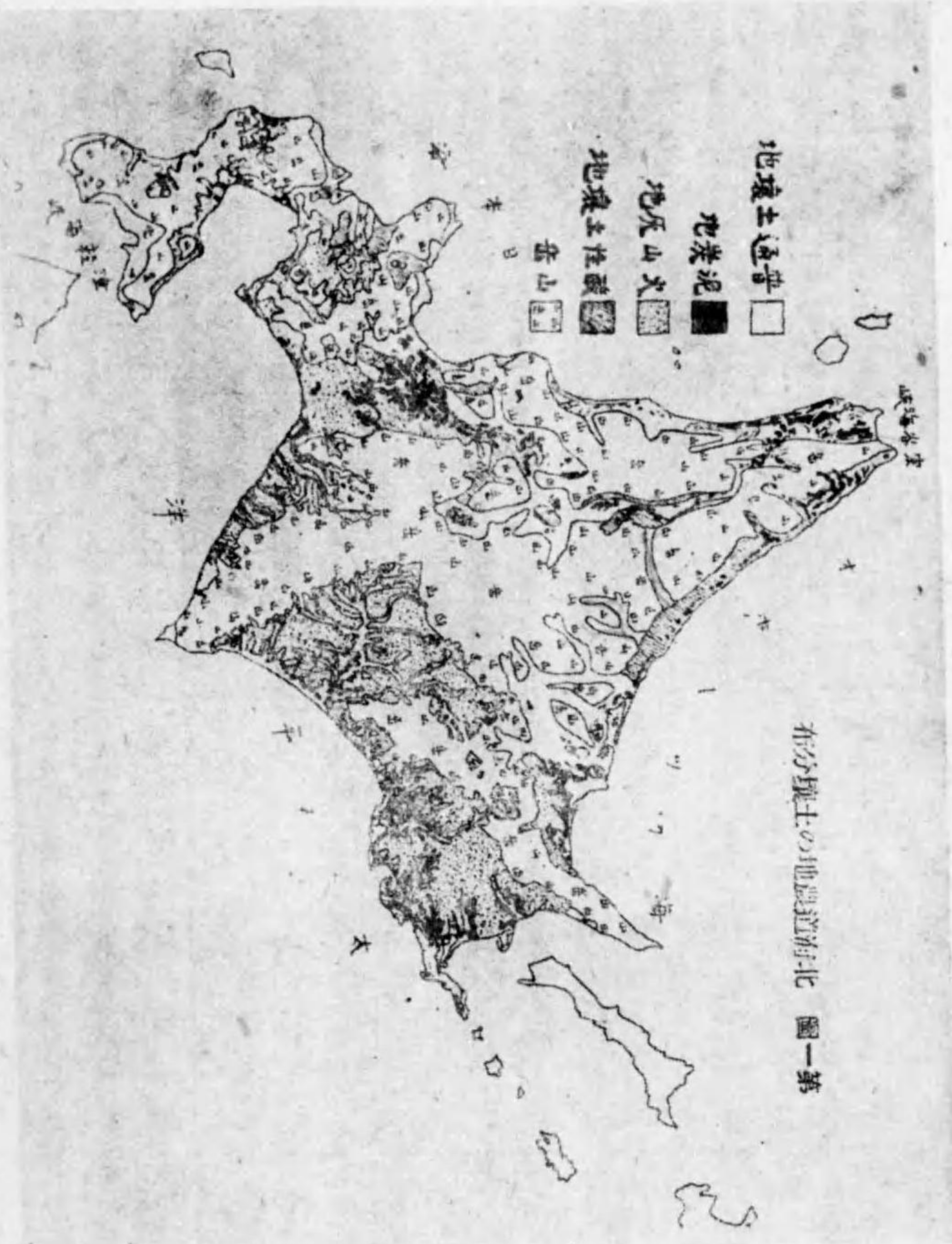


大正年間ニ北海道農事試験場の調査立案ニ基キ北海道廳ニ於テ定めタル農業地方區分圖

六



北海道農地の土壌分布



布分壤土の地農道道北 圖一第

五



支廳名	農産物産額		主要特殊農産物作付反別の支廳別分布割合(%)													
	米	小麥	燕麥	馬鈴薯	大豆類	大豆	小豆	豌豆	菜豆	亞麻	薄荷	甜菜	除蟲菊	牛	馬	
石狩	六・八%	七・五%	七・八%	一・八%	二・〇%	四・〇%	三・六%	二・六%	二・八%	一・〇%	四・九%	—	—	一・三%	二・七%	
空知	二・〇%	三・九%	九・六%	一・三%	五・〇%	八・〇%	六・五%	二・〇%	七・四%	三・九%	五・五%	〇・六%	—	四・五%	二・三%	
上川	二・四%	三・〇%	一・二%	一・〇%	六・八%	四・二%	一・一%	一・〇%	一・〇%	五・五%	八・〇%	六・八%	—	一・四%	五・〇%	
後志	五・三%	四・六%	二・七%	六・六%	一・四%	三・四%	三・五%	三・六%	二・三%	三・七%	四・八%	—	—	二・一%	一・六%	
檜山	一・六%	二・五%	〇・七%	一・三%	二・八%	二・〇%	一・七%	一・七%	〇・二%	〇・三%	〇・六%	—	—	〇・八%	〇・一%	
渡島	三・七%	二・八%	〇・八%	一・二%	五・六%	一・九%	四・三%	一・九%	〇・二%	〇・三%	〇・一%	—	—	一・五%	—	
膽振	三・五%	三・八%	六・二%	二・八%	一・七%	四・七%	六・〇%	三・三%	四・六%	四・一%	九・五%	—	—	一・六%	—	
日高	二・〇%	二・九%	〇・六%	四・一%	一・二%	二・七%	五・二%	四・三%	一・二%	〇・三%	〇・五%	—	—	〇・七%	—	
十勝	一・二%	三・四%	六・九%	一・八%	七・二%	五・〇%	四・七%	三・五%	四・四%	六・六%	三・八%	—	—	二・四%	—	
釧路	一・七%	—	一・三%	四・九%	二・四%	二・四%	三・五%	一・二%	二・二%	二・〇%	三・三%	—	—	六・七%	—	
根室	一・一%	—	一・五%	四・八%	四・六%	〇・六%	〇・四%	—	一・七%	〇・六%	二・三%	—	—	九・七%	—	
網走	一・五%	六・〇%	四・八%	一・三%	一・八%	九・八%	八・〇%	五・三%	一・八%	九・四%	一・六%	—	—	七・八%	—	
宗谷	一・二%	—	〇・四%	一・七%	七・一%	〇・三%	〇・一%	〇・一%	〇・九%	〇・三%	〇・四%	—	—	二・八%	—	
留萌	二・四%	二・七%	〇・八%	四・一%	三・二%	一・八%	二・二%	二・三%	二・三%	—	四・四%	—	—	二・六%	—	
全道計	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	一・〇%	—	—	一・〇%	—	

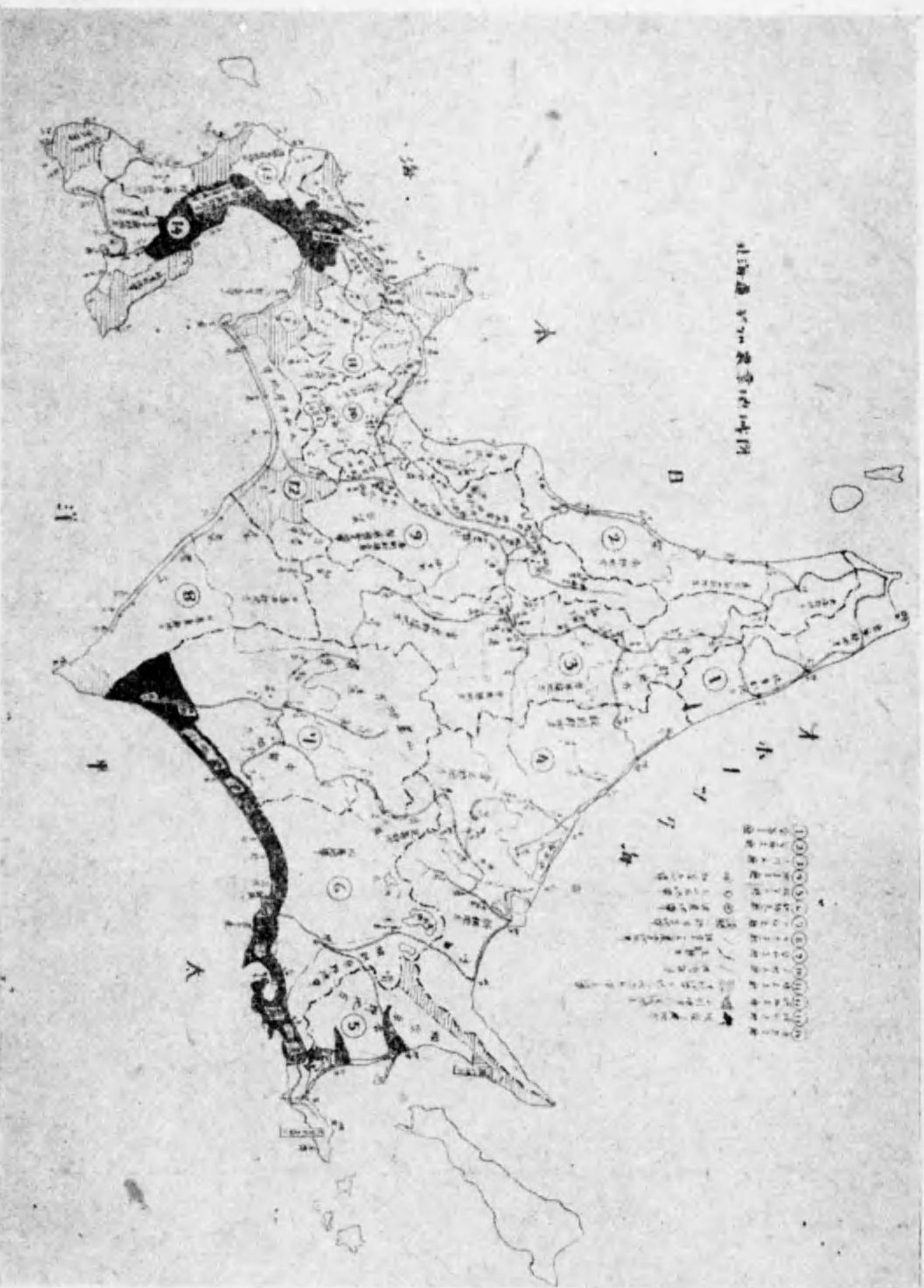
備考 各支廳百分率数字の合計は全道合計(一〇〇・〇)と一致しない、これは全道七ヶの市を茲に省略したからである(荒又操氏社會政策時報登載)

### 三 新に調査せる郡農會支廳管下の農業地域設定調査資料

各郡農會に於て現下の農事指導上の見地より研究せる農業地域を調査せるものを、以下三海面區に別ち集録せるものである。

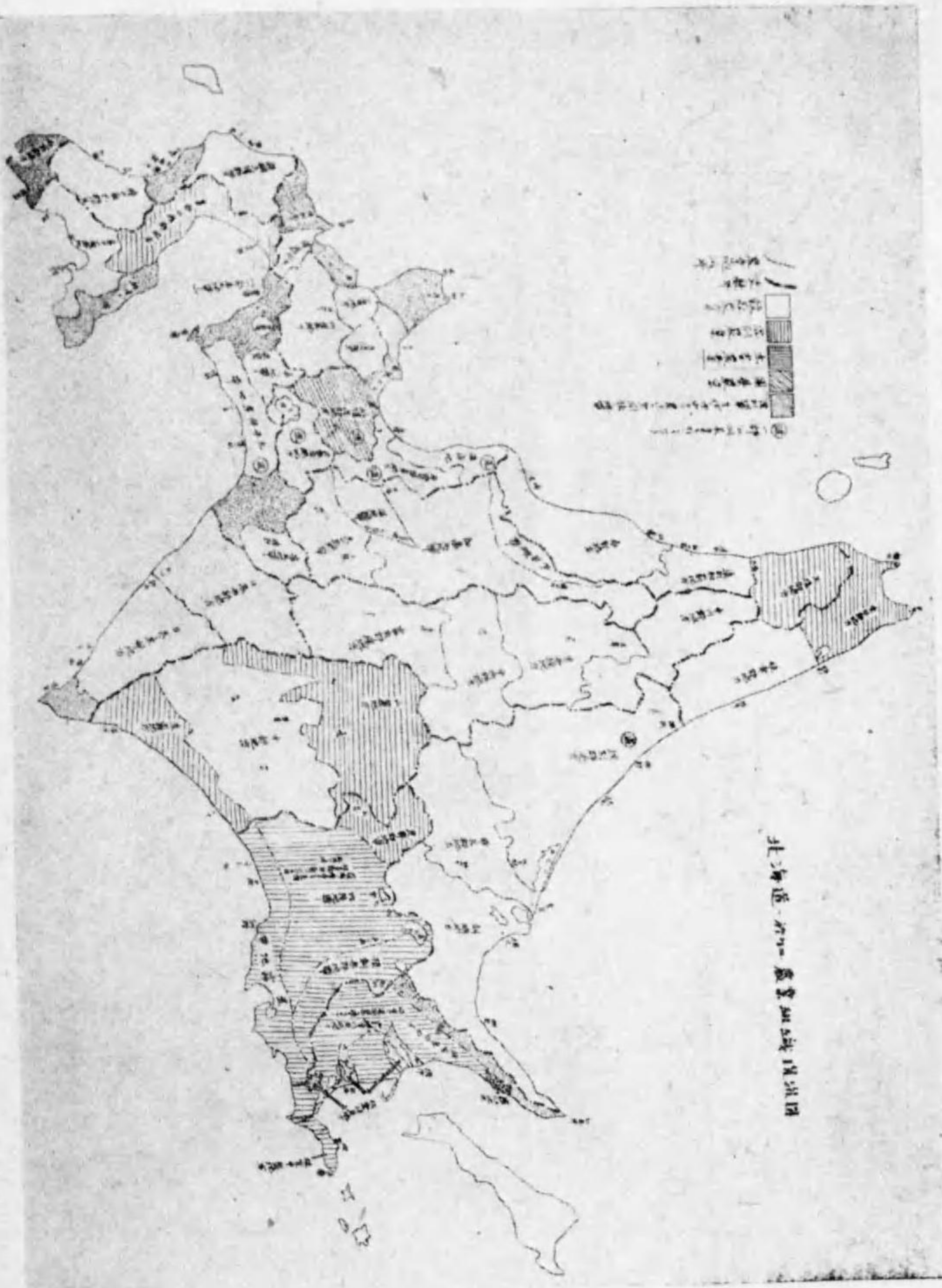


郡農會(支廳)管下地帯別農業圖 (其一)



本調査資料に基づき新に作成せるものである。

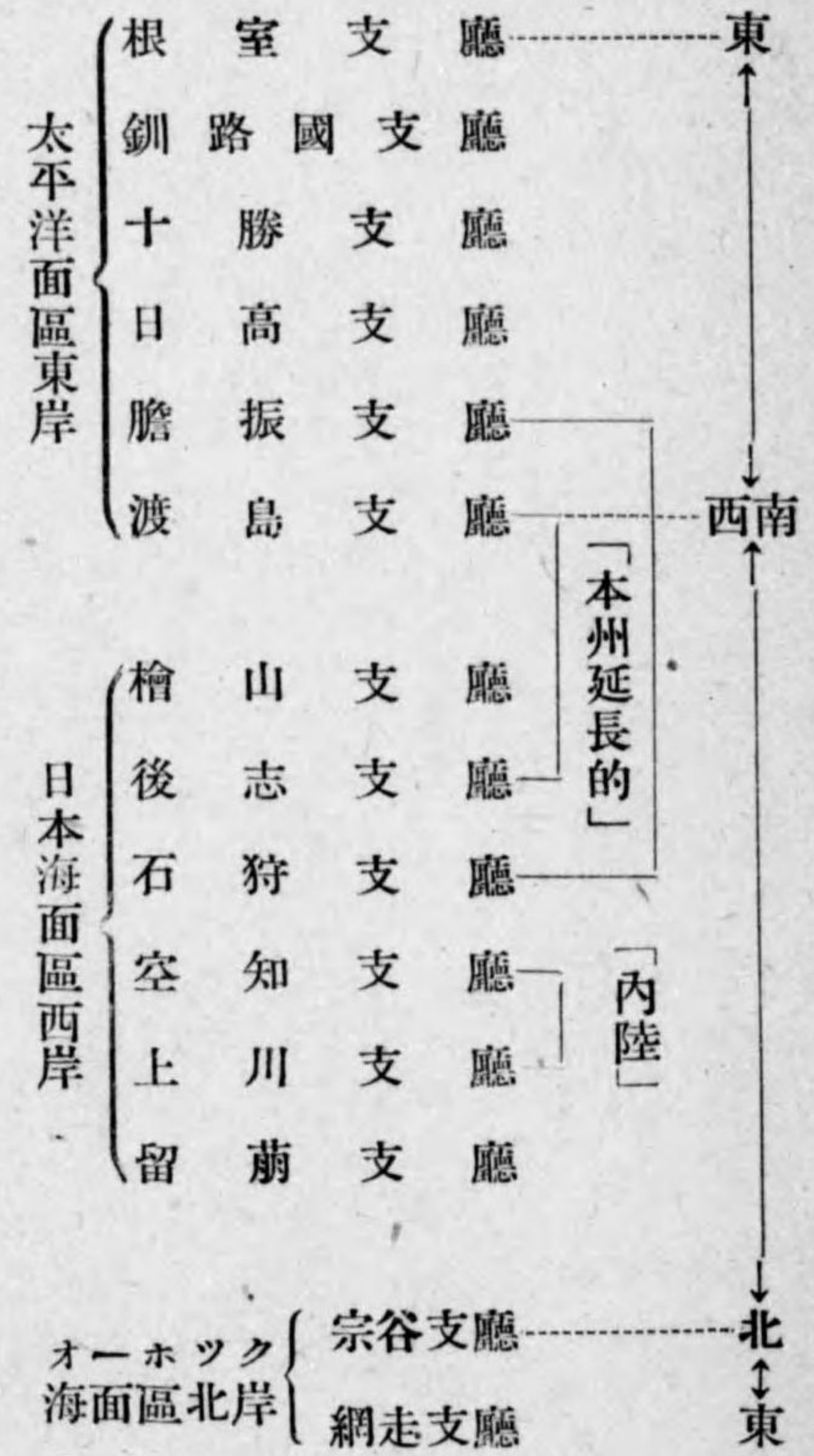
北海道に於ける農業組織現況圖 (其二)



本調査資料に基づき新に作成せるものである。



各支廳の三面區と郡農會の關係的位置



北海道に於ける四斜面區の面積並農業地

斜面區	總面積	農耕適地	牧場適地	既成農耕地	既成牧場地
東北斜面區	一四〇四、二四四町	二二三八八町	一五三、一〇〇町	一四六、八一六町	一六、七〇〇町
東南斜面區	二、〇六〇、八五三	五五五九〇二	三八三、一〇〇	二五九、九一七	三三、六〇〇
西南斜面區	二九〇一、六一八	五七九五〇二	三九五八〇	四二、七四六	一五、四〇〇
西南斜面區	一、五二一、二〇三	二二四、二六五	二〇七、二三〇	一一、五三三	四六、九〇〇
計	七、八七七、九二六	一、五八三、五五七	九三七、一〇〇	九四〇、〇〇一	三〇〇、六〇〇

(昭和九年現在)

北海道に於ける農牧適地の土壤分布並土性

斜面區	農牧適地	普通土壤地	火山灰地	泥炭地	土性
東北斜面區	三七七、〇八八町	二六九、六六九町	八四、八一六町	二二、六〇三町	壤土最も多く 壤土之に強ぐ
東南斜面區	九三九、〇〇二	一五七、六九〇	七三六、七六六	四四、五四六	壤土最も多く 砂土、壤土之に強ぐ
西北斜面區	八〇九、〇八二	六二、一六五	一一三、二二九	八四、六九八	壤土最も多く 壤土、砂土之に強ぐ
西南斜面區	四三二、四八五	一六二、三三四	二六〇、六一六	八、五四五	壤土、砂土伯仲して多く 礫土之に強ぐ
計	二、五五六、六五七	一、二九六、四九七	一、一九九、七六八	一六〇、三九二	壤土、最も多く 礫土、砂土之に強ぐ



(一) 大平洋面區東岸

波	膽	日	十	釧	根
島	振	高	勝	路	室
支	支	支	支	國	支
應	應	應	應	支	應







根室郡農會農業地域設定調査資料

設定セント スル地域名	根室半島地方
關係區域 町村名	根室町 商舞村 和田村一部
(自然的特徵) (氣候、土地)	積雪少ナク融雪期比較的早キモ圃場ノ乾燥緩漫夏季低冷ニシテ海霧ノ襲來甚ダシク晩秋日照多ク冬季風強キヲ特徴トス 從テ樹木ノ成育不長ナリ 地形段丘又ハ傾斜地多ク土壤ハ表層ハ摩周系ノ火山灰地、下層ハ第三期古層若クハ第三期層ニシテ地味稍其好酸性弱シ
(經濟的社會的特徵) (市場、其他)	根室町ノ農家ハ町市場中心トシテ蔬菜栽培ヲ行ヒ中ニハ酪農業ヲ經營スルモノアリ海陸共ニ便ニシテ將來北南千島開發ニ伴ヒ益々發展セントス 商舞村ハ漁村ニシテ自家用蔬菜栽培ヲ行ヒ市場ハ根室町ヲ中心トスル軌道ノ便アリテ交通比較的便ナリ 和田村ハ半漁農村地帯ニシテ市場ハ根室町ヲ中心トスル牧畜業ヲ主トシ半漁半農ノモノ少ナカラズ交通概シテ便トス 國後樺捉等ニハ硫黃礦山アルモ労働者ニハ直接影響ナキガ如ク鐵詰工場テハ相當ノ影響ヲ受ク
現在概況	牧草其他飼料作物ヲ主トシ蔬菜類之ニ亞ギ耕馬一、二ヲ有ス牧畜業ハ乳牛七頭内外ヲ有スル二十町内外、蔬菜栽培ハ畑一町五反内外ノ經營蔬菜栽培農家ハ乳牛ヲ入レ混同農業ニ進ミツ、アリ
組織獎勵目標	牧畜農業地帯ハ乳牛ノ改良増飼及飼料作物栽培ノ改善等ニシテ蔬菜農業地帯ハ乳牛ノ増飼、下肥溜ノ設置、移出蔬菜ノ増産並ニ蔬菜加工等、漁業地帯ニハ自給蔬菜ノ強化栽培ノ改良等ニシテ一般ニハ耕地ノ改良ニ重點ヲ置キツ、アリ
標準適正規模	牧畜農業 畑 二十五町 乳牛 十頭 耕馬 一、二頭 蔬菜農業 畑 五町 乳牛 二、三頭 耕馬 一、二頭 漁業地帯 畑 三町 馬 二、三頭



根室原野地方	別津村	積雪一般ニ少ナク地下凍結深キヲ以テ圃場ハ乾燥緩漫ニシテ春季氣温ノ上昇亦速シ、夏季ニ於テハ濃霧ノ襲來多ク低温ニシテ日照時數少ナク、秋季日照多キモ冷涼ニシテ晝夜ノ温度ノ較差甚ダシ從ツテ無霜期間短カキヲ特徴トス	純農村地帯ニシテ中央ニ格別市場トシテナク釧路市ト取引スルモノ多シ 交通便ニシテ標津礦山アリテ局部的ニハ勞働者ノ流出多ク農業勞働方面ニ影響多カリキ	飼料作物 燕麥、馬鈴薯、蕎麥等ヲ主作トシ甜菜、亞麻等之ニ亞ギ菽豆類、燕麥ヲ除ク麥類ノ栽培少ク耕馬二、三頭、乳牛三、四頭ヲ有スル十五町歩ノ主畜農業ニシテ漸次之ガ確立ニ進ミツ、アリ	主畜農業ニシテ飼畜ノ増加ヲ計ルト共ニ合理的の三圃式輪作實行ハ堆肥、綠肥ノ増産施用並混層耕徹底ト相俟テ地方ノ増進ヲ圖リ石灰ノ施用ニ依リ酸性土壤ノ改良ヲ行ヒツ、アリ	畑 十五町 馬 二十町 牛 二、三頭 四、六頭
羅白地方	羅白村	積雪多ク從ツテ融雪遅ク夏季濃霧ノ襲來甚ダシク晩秋割合ニ日照多カリシモ氣温低下ノ度急ニシテ一般ニ風強キヲ特徴トス 地形ハ段丘又ハ傾斜地ニシテ土壤ハ表層ハ摩	純漁村ニシテ市場ハ根室町ヲ中心トシテ春、夏、秋ニ於テハ發動機船、航海頻繁ニシテ陸路定期自動車ノ便アルモ冬期間ニアリテハ之等交通機關等殆ンドナ	ク自家用蔬菜トシテ馬鈴薯、菘類、蘿蔔等栽培スルニ過ギズ 然シテ副業トシテ馬二、三	墾耕適地面積少ナキモ之ガ解除ノ上牧畜經營農家ヲ移植セントシツ、アリ	經營面積 三十町—五十町 馬 十頭内外 牛 三、四頭

根室泥炭地方	別津村	西別標津川流域地方	周系火山灰下層ハ第四期古層又ハ火山岩土壤ニシテ地味比較的肥沃ナリ 土性微酸性ナリ	交通極メテ不便ナリ	頭飼養スルモノアルモ其數極メテ少シ	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様
別津村	別津村	別津村	氣候ハ根室原野地方ニシテ同様ナルモ只降霜少シク早シ 地形平坦ニシテ土壤ハ表、下層共ニ火山灰ト火山岩ニ由來スル沖積土ニシテ地味肥沃ナリ	根室原野地方ニシテ同様	一部放牧地トシテ利用セラレツ、アリ	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様
各河川流域	各河川流域	各河川流域	氣候ハ根室原野地方ニシテ同様ナルモ只降霜少シク早シ 地形平坦ニシテ土壤ハ表、下層共ニ火山灰ト火山岩ニ由來スル沖積土ニシテ地味肥沃ナリ	根室原野地方ニシテ同様	一部放牧地トシテ利用セラレツ、アリ	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様
各河川流域	各河川流域	各河川流域	氣候ハ根室原野地方ニシテ同様ナルモ只降霜少シク早シ 地形平坦ニシテ土壤ハ表、下層共ニ火山灰ト火山岩ニ由來スル沖積土ニシテ地味肥沃ナリ	根室原野地方ニシテ同様	一部放牧地トシテ利用セラレツ、アリ	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様
各河川流域	各河川流域	各河川流域	氣候ハ根室原野地方ニシテ同様ナルモ只降霜少シク早シ 地形平坦ニシテ土壤ハ表、下層共ニ火山灰ト火山岩ニ由來スル沖積土ニシテ地味肥沃ナリ	根室原野地方ニシテ同様	一部放牧地トシテ利用セラレツ、アリ	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様	根室原野地方ニシテ同様



釧路郡農會農業地域設定調査資料

一、地帯別農業經營法

(一) 根釧原野地帯

濱中村(茶内原野ヲ中心トセル各原野)、厚岸町ノ一部(厚岸町茶内)、標茶村ノ一部(虹別原野)、弟子屈村ノ一部(許可移民區域)ハ海潮・氣象其ノ他土地要素ノ關係ニヨリ他地方ト稍々其ノ趣ヲ異ニスル特異的地帯ニシテ同地方ノ自然的條件ニヨリ主畜農業經營ヲ最モ合理的トスルヲ以テ一定計畫ヲ樹立シ實行中

(二) 濃霧地帯

濱中村、厚岸町、釧路村、太田村、鳥取村、白糠村、音別村ノ一部及昆布森村ハ太平洋沿岸ヨリ内陸ニ至ル三里ノ地帯ニシテ夏季ニ於テ海霧ノ襲來多ク氣温冷涼ナルヲ以テ一般子實ヲ目的トスル作物栽培ニ適ザルモ飼料作物ノ生育良好ニシテ加フルニ冬季ノ氣候良好積雪亦少ナキガ故ニ主畜農業ヲ最適トシ一定方案樹立ノ上實施中  
尙鳥取村、釧路村ノ一部ハ釧路市場ノ蔬菜供給地トシテ有利ナル爲メ蔬菜地帯トシテ指導シツ、アリ

(三) 内陸地帯

釧路村、太田村、鳥取村、白糠村、音別村ノ一部及阿寒村、鶴居村、標茶村、弟子屈村ハ海霧ノ襲來比較的少ナキモ春季ノ氣候不順ニシテ且秋季天候良好ナルモ冷氣早來ノ憂多ク又土壤ハ火山拋出物ニ由來シテ地味稍々瘠薄ナリト雖モ麥類、根菜類並早熟性菽豆類ノ栽培ニ適ス、而シテ飼料作物ノ生育良好ニシテ加フルニ冬季積雪少ク畜産ニ適スルヲ以テ主畜農業經營ニ據ラシメ土地肥沃ナル箇所ハ混同農業經營ヲ最適トスルヲ以テ一定方案樹立ノ上實施中

(四) 足寄郡地帯

足寄村、達別村ハ寒暑共ニ烈シク而モ地形ハ所謂高丘ニシテ其ノ土壤ハ概ネ火山拋出物ニ由來シ地味一般ニ肥沃ナラズ然レ共秋季ノ氣候良好ナルヲ特徴トスルヲ以テ本地帯ハ混同農業ニヨルヲ最モ安全トス  
尙水田耕作ニ際シテハ田畑兼營或ハ畑作經營ニ附隨セシメ自家食糧生産程度トシテ經營スルヲ最適トス

右一定方案樹立シ實施中  
二、農業經營方案

各地帯別農業經營方案左ノ通り定メ實施中

(一) 内陸地帯農業經營方案

(經營要素ノミ記載シ他ハ省略ス)

(イ) 十町步主畜農業經營(馬ノミ)

耕地	八町四二	未開地	一町五八	計	一〇町〇〇	勞働力	三人	消費成人	五人	牝馬	一四頭	仔馬	七頭	消費頭數	一六・一	小家畜	二	鶏	一〇	兔	一〇	大家畜ハ親馬親牛ノミ記載
----	------	-----	------	---	-------	-----	----	------	----	----	-----	----	----	------	------	-----	---	---	----	---	----	--------------

(ロ) 火山灰地(高臺)十二町五反步主畜農業經營

耕地	一一三・八	未開地	一一・二	計	一二・五	勞働力	三人	消費成人	五人	馬	二頭	乳牛	四頭	小家畜	二	鶏	一〇	兔	一〇	大家畜ハ親馬親牛ノミ記載
----	-------	-----	------	---	------	-----	----	------	----	---	----	----	----	-----	---	---	----	---	----	--------------

(ハ) 沖積土(低臺)十町步混同農業經營

耕地	八町五	未開地	一町五	計	一〇町〇	勞働力	三人	消費成人	五人	耕馬	二頭	乳牛	二頭	小家畜	二	鶏	一〇	兔	一〇	大家畜ハ親馬親牛ノミ記載
----	-----	-----	-----	---	------	-----	----	------	----	----	----	----	----	-----	---	---	----	---	----	--------------



(二) 足寄郡地帯農業經營方案

耕地	經營面積	勞働力	消費成人	耕馬	乳牛	小家畜	鶏	兔	大家畜ハ親ノミ記
九町〇	一町〇	三人	五人	二頭	二頭	二	一五	一五	

(三) 濃霧地帯農業經營方案 (十五町歩)

耕地	經營面積	勞働力	消費成人	馬	乳牛	小家畜	鶏	兔	同
一二七・五	二二・五	三人	五人	二頭	七頭	二	一〇	一〇	

以上ノ如キ經營要素ノ方案ノ下ニ實施中ナルモ本方案立案當時ノ狀況ト現在ノ諸條件トハ多少異ナルモノ有リ本方案モ修正及追加ヲ要スル事被認ル、ニ付目下研究中ナリ

十勝郡農會農業地域設定調査資料

設定セントスル地域名	關係區域町村名	自然の特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	現在概況	獎勵目標	標準適正規模
山麓地方	新得町、清水町、御室村、御芽村、鹿川村、追村	春晩秋早夏霖雨アリ 春下種期ニ風害アリ 地味瘠薄天惠少シ		耕馬 二頭位 乳牛 數頭位 鶏 三十羽位 豚 二頭位 羊 二頭位 豆類ヲ主トス 馬鈴薯、燕麥之	耕馬 二 乳牛 三 鶏 五〇 豚 數頭 羊 數頭 馬鈴薯、甜菜ト 豆類ト麥類ヲ同	全獎勵目標ト同 同ジク經營面積ハ十五町歩乃至三十町歩トシ防風林ヲ殖栽セシム

日高郡農會農業地域設定調査資料

設定セントスル地域名	關係區域町村名	自然の特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	現在概況	獎勵目標	標準適正規模
濃霧地方	大津村、大樹村、廣尾村	春晩、秋早 六、七、八月ハ常ニ濃霧襲來ス 大津村ハ水害アリ 大樹、廣尾ハ地味瘠薄ナリ		馬 三―四頭 牛 少シ 小家畜家禽少シ 大豆ヲ主トシ 燕麥之ニ亞ギ粗放ナリ	馬 三―四頭 牛 三頭 鶏 五〇 豚 數頭 羊 數頭 馬鈴薯、甜菜家畜飼料混合經營	獎勵目標ト同 ジク經營面積ハ十五―十八町歩トシテ主畜經營トシ馬ノ生産ヲ主トス
中部地方	大正、川西、芽室、清水、音更、布別、池田、奔別、豊頃、浦幌	比較的春早、秋晩 地味肥沃ナル所多ク、 風害少シ 天惠大ナリ	帶廣市ヲ中心トシテ交通、運輸、經濟等頗ル便ニシテ管内農業ノ中心地帯タリ	耕馬 二頭位 乳牛 一頭位 小家畜家禽少ク 豆類ヲ主トシ 麥類、根菜類之ニ亞ギ經營稍集約ナリ	耕馬 二 乳牛 三 鶏 三〇 羊、豚 數頭 豆類ヲ主トシ根菜禾本科ヲ同ジ割合位ノ作付トシ混合經營トナス	獎勵目標ト同 ジク經營面積ハ八町歩ヨリ十五町位トス
日高東部地方	樺似村、浦河町	融雪遅延並ニ降雪早ク又春夏季ニ於テ農霧襲	農漁村地帯ヲ有ス、浦河町ヲ中心トシテ交通	主トシテ馬産地 帶ト稱スルモ耕	混同農業ヲ盛ニシテ堆肥ノ増産	如五―一〇町 水田三―五町



日高西部地方	新冠村、門別村、平取村、右左府村	右と同様 其ノ外特ニ樽前山系統 火山灰地帯多シ地味不 良ナリ	右ノ外八田及日東兩鐵 山關係ノタメ勞力不足 ヲ來ス	右同様	右同様	右同様
三伏村、石内町、靜内村	來ス、黒墨地帯及泥炭 地ノタメ地味瘠薄及比 較的性質ハ酸性ノ向 メ多ク且ツ強性ノ 狀況ナリ	ハ殆ド海岸線ニ伴フ鐵 道ノ便アルモ運轉ノ回 數他線ニ比シ少ナキタ メ不便ノ感アリ 漁期及昆布採取期ニハ 相當農村方面ノ勞力不 足スル事多シ	地ヲ有スル農業 經營ヨリ見ル時 ハ作付ノ主ナル モノ水稻、燕麥 大小豆類最モ多 シ之レニ次グハ 薄荷及牧草ナリ 耕馬トシテハ二 一三頭ヲ有スル モノ一〇町歩以上 ノ先進農家ニ於 テハ穀菽農家ガ 多ク而シテ混同 農業ハ年次多キ ニヨレリ特ニ乳 牛ヲ入ル、ノ狀 況ヲ見ルナリ	ト乳牛ノ増加ヲ 圖リ一方ハ酸性 ノ土壤ヲ改良シ 又ハ土地改良ノ 内容トシテ一般 中心トシテ一 ノ耕土改良ニ重 點ヲ置キ反收生 産ノ増加ヲ圖ル	馬 二―三頭 牛 二―三頭	

膽振郡農會農業地域設定調査資料

設定セント スル地域名	關係區域 町村名	自然的特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	農業 現在概況	組織 獎勵目標	標準適正規模
太平洋岸地帶	幌別村、白老村、苦小牧町	樽前系火山灰ヲ以テ蔽 レ瘠薄ノ地多ク夏季濃 霧ノ襲來ニ禍セラレ氣 候極メテ不長	室蘭市並ニ苦小牧町ニ 近ク交通便ナリ 尙工業地ニ近キタメ農 業勞力ノ不足甚ダシ	主要農作物ハ玉 蜀黍、大、小豆 ニシテ牛馬ノ飼 養部分的ニ稍々 發達セリ	飼料作物ニ重點 ヲ置キ乳牛一戸 當五、六頭ヲ飼 養セシムルト共 ニ一面室蘭市ヲ 市場トスル蔬菜 栽培(蔬菜根菜) ヲナサシム	
高丘地帯	德舜營村、全部豊浦村、穂別村	何レモ殖土系土壤ニシ テ酸性ヲ帶ルモ農耕ニ ハ適ス	交通ニメグマレザルモ 近ク德舜營村ハ膽振從 貫鐵道全村ヲ從貫ス 穂別村數年中ニ金山線 全通ノ見込 豊浦村自動車ノ開發ヲ 必要トス	德舜營村麥類、 菜豆ヲ主作物ト ス 豊浦村馬鈴薯ヲ 主作物トス 穂別村大豆ヲ主 作物トス	飼料作物ノ増加 ヲ計リ乳牛ノ一 般的普及ヲ圖ル 尙德舜營村ハ之 ニ馬鈴薯栽培ヲ 加ヘ澱粉加工事 業ヲ起ス	

渡島郡農會農業地域設定調査資料

設定セント スル地域名	關係區域 町村名	自然的特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	農業 現在概況	組織 獎勵目標	標準適正規模
龜田上磯郡地方	龜田村、上磯町	渡島管内農村ノ中樞地 域ニシテ土質概ネ黒色	市場ハ函館市ヲ中心ト シ交通便ニシテ經營ハ	水稻馬鈴薯ヲ主 體トシ蔬菜、果	家畜ノ增飼ヲ計 リ堆肥ノ増産酸	水田二―三町 畑 二―三町



(純農村地帯)	茅部、山越郡地方 (火山灰濃霧地帯)	松前郡地方 (漁村地帯)
七飯村 (軍川村ヲ除ク) 大野村 錢龜澤村 茂別村 木古内村 知内村	七飯村軍川郡地方 森落部町 八雲町 長萬部村	福島村 吉岡村 大澤村 福山村 小島村 大島村
壤土ニシテ地味肥沃、 氣候温暖ナリ	内浦灣ニ面シ濃霧地帯 ニシテ胸岳ノ影響ニヨ リ火山灰ニシテ春期強 風ノ被害ノ虞レ多ク酸 性強ク地味肥沃ナラズ 管内ノ冷害被害地帯ト ス	春季融雪早ク秋季降霧 遅ク渡島管内ノ他ノ地 方ヨリ一ヶ月ハ農期長 キモ海岸地帯ノタメ強 風ノ襲來激シク農耕地 ハ全部高臺ニアリ壤土 トス
氣候ニ惠マレ市場近接 ノタメ市況ニ左右セラ ルル變化激シク且ツ商 的觀念強キ農家多シ 勞力概ネ村内自給スル モ函館市内ノ影響ヲ受 クルコト多シ	管内ノ農村地帯ナルモ 農作物ニ惠マレズ酪農 ト相俟ツテ經營ヲ合理 化シ勞力亦海岸地方ノ 勞賃ニ影響ヲ受クルコ ト多シ	漁村地帯ニシテ鐵道ナ ク交通不便ニシテ玉獨 黍ヲ主ナル農産物トシ 青森地方ニ供給セル現 狀ニアリ勞力ハ村内ニ 於テ自給ス
樹ヲ之ニ配シ穀 菽類之ニ次グ 家畜ハ馬一―二 頭、木古内、知 内地方ハ乳牛二 ―三頭ヲ飼育シ 各村共經營面積 平均二―三町ト ス	馬鈴薯、穀菽飼 料作物ヲ主體ト シ之ヲ甜菜ヲ配 シ乳牛五頭―七 頭ヲ有シ混同農 業經營ニアリ、 水稻耕作ハ一部 分トス	漁業ヲ副業トシ テ經營スルモノ 多ク玉獨黍ヲ除 キ馬鈴薯、蔬菜 類ハ自給ノ程度 ニアリ 一人小島村ニ於 テノミ家畜ノ飼 育ニヨリ土地ノ
性ノ矯正ニヨリ 耕土改良ト合理 的經營ニヨリ反 收ノ増加ニ重點 ヲ置ク 亀田、上磯、七 飯、大野ニ毛作 ヲ獎勵ス	混同農業經營ノ 徹底ヲ期シ飼料 作物ノ増加ト根 菜類ノ作付ノ耕 土改良ニ重點ヲ 置キ水稻ハ早生 種獎勵ニツトム	自家用蔬菜ト氣 候等ノ關係ニテ 果樹ノ普及獎勵 ヲナシ家畜ノ飼 育ヲ併セ自給肥 料ノ増産ヲ計リ 馬鈴薯、玉獨黍、 豆類ノ増産ヲ目 標トス
馬 一―二頭 牛 四頭 飼料作物經營 面積ノ二割ヲ 目標トス	畑七町―十町 馬 二―四頭 乳牛五―七頭	極力農耕地ノ 擴張ヲ期ス

	他ノ町村ハ 純漁村ニシ テ地域設定 ヲ要セズ
肥沃ト穀菽類其 他ノ農産物ノ好 成績ヲ擧ゲツ、 アリ	



(二)  
日本海面區西岸

留	上	空	石	後	檜
崩	川	知	狩	志	山
支	支	支	支	支	支
廳	廳	廳	廳	廳	廳



檜山郡農會農業地域設定調査資料

設定セント スル地域名	關係區域 町村名	自然的特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	農業 現在概況	組織 獎勵目標	標準適正規模
瀨棚、太櫓 郡地方	利別村 東瀨棚村 太櫓村 瀨棚町	融雪期遅延シ春季播種 遅ス爾後東偏風多ク 七月初迄持續スルヲ特 徴トス氣温ハ低冷ナリ 夏秋共ニ雨濕ノ天候持 續ス、畑地ハ高丘地多 ク表土淺ク地味瘠薄ニ シテ酸性土壤多シ	瀨棚町太櫓村ハ海ニ面 スレドモ純農村多ク何 レノ町村モ林業盛ナル ト利別村ハ礦山多ク勞 働力ハ自然此ノ方面ニ 出稼スルモノノ影響多 シ交通ハ瀨棚線ニ依ル ノミナレ共稍便ナリ	大豆、馬鈴薯、 玉蜀黍、燕麥等 ヲ主作物トシ耕 馬一―三頭、乳 牛多ク(利別)其 他ハ一戸當〇・ 五頭程度ナリ今 後益々増飼ノ必 要アリ耕地ハ畑 平均七―八町穀 菽農業多シ	混同農業ヲ目標 トシ特ニ乳牛ノ 増加ニ依リ地力 ノ増進ヲ圖リ併 而酸性土壤及耕 土ノ改良ヲ必要 トルヲ以テ之ニ 重大サヲ置キツ 、アリ麥類ノ栽 培ハ特ニ困難ナ リ	畑 七―八町 馬 一―三 牛 一―二
檜山爾志郡 地方	厚澤部村 泊差村 江上村 乙部村	融雪後六月中ニ至リ東 偏風多ク夏秋共多濕ニ シテ病害中ノ發生多シ 特ニ麥類ノ栽培ヲ困難 トス 高丘地多ク是等ハ地味 瘠薄ナリ	厚澤部村、乙部村ノ一 部ヲ除ク外ハ水田地帯 ナリ 市場ハ江差町トス特ニ 冬期ノ交通不便ナリ	大豆、小豆、馬 鈴薯、玉蜀黍、 燕麥等ヲ主作物 トシ耕馬ハ平均 一―三頭ヲ有シ 穀菽農業ナリ先 進ノ農家ハ乳牛 ヲ入レ混同農業 ニ進ミツ、アリ	厚澤部村、乙部 村ノ一部ハ混同 農業ニ依リ飼料 作物ノ増産ヲ圖 リ地力ノ増進ヲ 必要トス 特ニ小麥類ノ栽 培ハ困難ナリ	畑 五―七町 馬 一―三 牛 一



後志郡農會農業地域設定調査資料

(一) 設定セントスル地域名	(二) 關係區域町村名
A 園地	朝里村、鹽谷村、余市町、大江村
B 岩内郡地	小澤村、前田村、發足村
C 山麓地	俱知安町、京極村、喜茂別村、留壽都村、眞狩別村、狩太村、南尻別村
D 濃霧地	熱郭村、黒松内村、樽岸村
E 赤井川地	赤井川村
F 漁村地	西島牧村、東島牧村、壽都町、歌葉村、磯谷村、島野村、岩内町、泊村、神恵内村、余別村、入瀬村、美國町、古平町

(三) 自然的特徴

(以下地域名ハ略號ヲ記ス)

- A 氣候比較的溫和ニシテ降雪少ク融雪期早シ  
土性ハ埴壤土ヲ主トシ泥炭地及礫ヲ混入セル土地一部アルモ地味概ネ肥沃ナリ
- B 氣候概ネ溫和ニシテ融雪期早シ、土性ハ一部酸性土壤ノ重粘土地ヲ有スルモ多部分埴土ニシテ地味比較的肥沃ナリ
- C 羊蹄山麓ノ山岳の傾斜地帯ニシテ標高一、〇〇〇—一、三〇〇尺ノ高度ヲ有シ初霜早ク、積雪量多ク融雪又遅延シ、晩霜モ時ニ六月中旬ニ及ビ、耕期間稍短シ、土性ハ概ネ羊蹄並有珠系ノ火山灰ニシテ「ニセコアンヌプリ」山麓ハ重粘土地ナリ、有珠系ハ地味肥沃ナルモ其ノ他ハ概シテ瘠薄ニシテ酸性土壤ノ分布廣シ、特ニ無水地帯ヲ有ス
- D 夏季屢々濃霧ノ襲來ニ依リ氣候概ネ低冷ナリ、融雪期比較的早シ、土性ハ埴土多ク地味瘠薄ナリ
- E 舊火口鍋狀盆地ニシテ標高五〇〇—一、〇〇〇尺ノ地位ニ在リ、初霜早ク積雪量多ク、融雪又ハ遅延セルモ夏季ノ氣溫比較的高シ、土性ハ埴土ニシテ酸性土壤多シ

(四) 經濟的、社會的の特徴

- A 本地方ハ何レモ交通至便ニシテ小樽大市場ヲ有シ札幌方面ニ一部出荷ス  
苹果ハ全道ニ出荷スルト共ニ一部道外ニモ市場ヲ有ス
- B 純農村地帯ニシテ交通概シテ便ナリ市場ハ岩内町ヲ中心トス、國富嶺山、茅沼炭礦アリテ労働方面ニ影響アリ
- C 純農村地帯ニシテ農村社會施設モ概シテ整備セラレ人情質朴ナリ、産業組合ノ活動活潑ニシテ經濟ノ柱核ヲナス  
交通ハ函館本線並ニ支線ノ沿線ハ便利ナルモ一部不便ノ地方アリ
- D 交通至便ニシテ黒松内村ヲ中心市場トス、大金嶺山靜狩嶺山並出稼者(漁業)アリテ農業ニ従事スル中心人物少シ
- E 純農村ナルモ社會施設不備、交通又至極不便ノ地ニシテ産業組合ノ活動充分ナラズ  
市場ハ余市町ヲ中心トス

(五) 農業組織

- A (1) 現在概況  
果樹、蔬菜類ヲ主トスルモ普通作物ノ耕作モ亦全面積ノ六割ヲ占メ概ネ小經營ナリ
- (2) 獎勵目標  
現状維持
- B (1) 現在概況  
當地方ハ水田地帯及普通畑地帯ニ大別セラル、水田地帯ハ四—五町歩ヲ經營シ、畑作地帯ニ在リテハ秋蒔小麥、菜種、燕麥等ヲ主トシ亞麻、除蟲菊、豆類之ニ次ギ耕馬ハ兩地帯トモ一—二頭ヲ有ス  
尙畑作地帯ハ混同農業ニ移行シツ、アリ
- (2) 獎勵目標  
畑作地帯ニ於テハ地力増進經營改善ヨリ酪農經營ニ改善セントス
- C (1) 現在概況



水田地帯及畑作地帯ニ區分セラレ畑作地帯ニ在リテハ馬鈴薯、燕麥ヲ主トシ「アスバラガス」亞麻、甜菜、菜豆類之ニ次ギ耕馬一―三頭ヲ有シ九―一〇町歩ノ穀菽農業多ク混合農業ニ移行シツ、アリ

(2) 獎勵 目標

畑作地帯ニ在リテハ耕土改良、經營改善ノ目的ヲ以テ酪農經營ノ積極的獎勵ト「トラクター」耕ノ獎勵ヲ計畫中ナリ

D (1) 現在 概況

馬鈴薯、燕麥ヲ主トシ亞麻、豆類之ニ次ギ耕馬一―二頭ヲ有シ三―五町歩ノ過小農ニシテ酪農經營ニ移行シツ、アリ

(2) 獎勵 目標

耕地ノ擴張ト共同放牧地ノ設定ニヨリ乳牛飼育ニヨリ土地改良ト經營ノ確立ヲ圖リツ、アリ

E (1) 現在 概況

除蟲菊、燕麥、馬鈴薯ヲ主トシ其ノ他玉蜀黍、豆類之ニ次ギ馬一―二頭ヲ有シ三―五町ノ穀菽過小農業ナリ

(2) 獎勵 目標

耕地ノ擴張、共同放牧地ト設定ト相俟テ酪農經營ヲ獎勵計畫中ナリ

(六) 標準適正規模

A 果樹地帯 二町五反―三町歩  
普通園藝地帯 (蔬菜ヲ主トシ之ニ果樹ヲ配ス)  
一町五反―二町五反歩

水田地帯 四町歩―四町五反歩

普通畑地帯 七町歩―八町歩

耕馬 一―二頭

B 畑作地帯 七―八町歩  
馬 一―二頭

水田地帯 三―四町歩

馬 一頭

C 畑作地帯 一〇―一二町

馬 二―三頭

水田地帯 四―五町

馬 一―二頭

D 畑馬 五―六町

馬 一頭

E 畑馬 五―七町

馬 一―二頭

備考 漁村地方ハ專業農業少ク農業ハ概ネ漁家ニ依リ副業的ニ營マレツ、アリテ農耕適地狭少ニシテ農業的價値ニ乏シ

札幌外四郡農會農業地域設定調査資料

設定セント スル地域名	關係區域 町村名	自然的特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	農業 現在概況	組織 獎勵目標	標準適正規模
札幌近郊地 方	札幌村 琴似村	南方ハ山岳ニシテ豊平 川厚別川發寒川沿岸ノ	札幌市近郊ナルヲ以テ 果樹、蔬菜其他ノ園藝	豊平町圓山町琴 似村等ニハ果樹	地域のニ特徵ア ル經營ヲ一層充	



北鐵沿線地	手稻村、圓山町、豐平町、白石村、篠路村(南半部)以上七ヶ町	澤地以外ハ平原ナリ、氣候概シテ温和ニシテ、豐平町ノ一部ノ火山灰地、白石村、琴似村及手稻村ノ一部ノ泥炭地ノ外ハ概シテ沖積土地帯ニシテ山間部ニハ第三紀ニ屬スル土地アリ	作物ノ栽培盛ナリ、交通便ニシテ勞力ノ供給概シテ潤澤ナリ、手稻村ニ礦山アルヲ以テ勞働方面ニ相當ノ影響ヲ受ク	專業的、コレラノ町村及白石村ニハ蔬菜專業の經營アリ、札幌村ニハ葱類ノ大地積ヲ栽培スル經營アリ、琴似村ノ一部ニハ大地積ノ大根ヲ栽培スル特殊經營アリ又普通水田經營、畑作經營及混同經營亦多シ	實セシムルト共ニ其他ノ地域ニハ有畜混同經營組織ヲ一層完備セシムトス
千歲村	千歲村	西部ハ野幌原始林ニテ境サレ南部山岳發達スネンコシ、長都及中ノ澤ノ各原野ハ泥炭ヲ以テ被覆セラル、濕原ナルモ農耕地ノ大部分ハ火山灰地ナリ、夏季ハ氣候稍陰曇勝ナリ	千歲村ニハ鐵山存在シ勞力ニ影響多ク、蔬菜需要激増シツ、アリ其ノ他ノ地方ハ北鐵各驛及省線三川驛ヲ中心市場トスル純農村ナリ	千歲川、漁川、島松川、輪厚川等ノ沿岸ノ沖積地帯ニハ水田經營ヲ行ハルノモ其ノ他ハ畑作地帯ニシテ混同農業又ハ主畜經營ヲ行ハレツ、アリ、畑作物トシテハ小麦、燕麥、大豆ノ作付特ニ多シ	畑作地帯ニアリテハ一層畜牛ヲ獎勵シ混同經營ヲ充實セシメン

石狩川沿岸地方	新篠津村、當別村、江別村、篠路村(北半部)石狩(大部分)以上五ヶ町	石狩川本支流ニ沿ヒ主トシテ沖積土地帯ニシテ篠津原野ニハ大地積ノ泥炭地アリ、高丘地帯ハ第三紀土壤ナリ	江別、當別、石狩ヲ中心市場トシ篠路村ハ札幌ヲ中心市場トス鐵道沿岸ハ交通便ナルモ其ノ他ハ交通稍不便ナリ孰レモ純農村ナルモノ一部漁業ヲ兼スルモノアリ	新篠津村ハ畑作經營ニシテ其ノ他ノ町村モ大部分畑作經營ナルモ當別、石狩、江別及篠路ニハ水田經營亦多シ混同經營ハ地域的ニ發達セリ	畑作地帯ハ一層混同經營ニ進マシムルコトヲ要ス、第三紀高丘地ハ酸性矯正ヲ獎勵セントス
臨海地方	濱益町、厚田村、石狩(一部)以上三ヶ町	海岸ニ沿ヒテ發達セル丘陵地帯及山間ノ沖積土地帯ナリ	交通不便ナリ、沿岸ニハ半農半漁ノモノアルモ丘陵地及山間ノ農家ハ純農村ナリ	沖積土地帯ニハ水田經營行ハル、モ丘陵地ハ畑作穀菽經營ニシテ一部混同經營ヲ行ヒツ、アリ	混同經營ヲ獎勵シ高丘地ハ酸性土壤ノ改良ヲ中心トシテ耕土改良ヲ行ハントス

空知郡農會農業地域設定調査資料

設定セントスル地域名	關係區域町村名	自然的特徵(氣候、土地)	經濟的社會的特徵(市場、其他)	農業現在概況	組織獎勵目標	標準適正規模
水田植土系犁底盤發生地帯	各町村				土地改良 農具改良 耕種改善	



火山灰地帯	泥炭地帯	畑高丘地帯
長沼村 由仁村 角田村 夕張町	栗澤村 美向村 北見村 岩見澤町	岩見澤町 栗澤村 美向村 砂川町 江部乙村 音江村 芦別村 長沼村 沼田村 月形村 浦臼村 新十津川村 秩父別村 角田村 多度志村 雨龍村 幌加内村
火山灰	泥炭地	
土地改良	泥炭地改良	高丘地土地改良 有畜農業

上川外四郡農會農業地域設定調査資料

冷害地帯	冷害	水稻改良 有畜農業
幌加内村 新十津川村 ノ一部 北龍村ノ一部 多度志村ノ一部 沼田村ノ一部		

設定セント スル地域名	富良野線地方
關係區域 町村名	美瑛町 上富良野村 中富良野村 富良野町 山部村 東山村 南富良野村 占冠村 以上八ヶ町
自然的特徴 (氣候、土地)	融雪比較的早ク、秋霜稍早ク、夏季ハ高温ナリ、地勢ハ比較的平坦ナルモ段丘傾斜地多ク表土ハ稍々淺クモ地味ハ比較的肥沃ナリ
經濟的社會的特徵 (市場、其他)	純農村地帯ニシテ市場ハ富良野町ヲ中心トシ交通鐵道及自動車ノ便アリ 森林伐採及石線鑛山ノ關係上労働方面ニ多少ノ影響ヲ受ク
農業 現在概況	水稻及燕麥ヲ主作トシ除蟲菊、菜豆類之ニ次ギ耕馬一―二頭ヲ有スル七―八町歩先進農家ハ時局作物ヲ取入レタル輪作經營ニ進ミツ、アリ
組織 獎勵目標	耕種肥培法ノ改善、土地改良、輪作經營ヲ中心トシタル農業經營ニ變換シツ、アリ
標準適正規模	水田 三―五 畑 七―八 馬 一―二 鶏 一〇―二〇 兔 一―二







(三)

オホーツク海面區北岸

網	宗
走	谷
支	支
廳	廳



宗谷郡農會農業地域設定調査資料

設定セント スル地域名	關係區域 町村名	自然的特徵 (氣候、土地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	農業 現在概況	組織 獎勵目標	標準適正規模
宗谷郡地方	宗谷郡各町 村及枝幸郡 頓別村ノ一 部	夏季低溫シテ無霜期間 短ク土壤重粘ニシテ強 酸性概ネ高台地ニシテ 起伏多シ 土地生産力乏シ	經濟力薄弱近來炭礦ノ 事業計畫進ミ勞力ヲ是 ニ吸收セラレ、モノア リ	燕麥ヲ主作物ト シテ近來乳牛飼 養農家漸ク増加 セリ	耕土改良地力増 進 主畜農業經營、 耕地 防風林ノ設備 指導網ノ充實	後記參照
枝幸郡地方	枝幸郡各村	宗谷郡ニ比シ稍夏季氣 温上昇シ地力モ優ル	澱粉ヲ主產物トシ前者 ヨリ稍經濟的ニ惠マル	馬鈴薯ヲ主作物 トシテ偏作シ飼 料作物栽培少シ	耕土改良 地力増進 飼畜混同農業 飼料作物獎勵	後記參照

農業經營方針

- 一、氣候、土地生産力附近ニ於ケル土地獲得ノ難易等ヲ考慮シ  
宗谷郡ノ大部分及枝幸郡ノ一部ハ十五町步經營ノ主畜農業  
枝幸郡ノ大部分及宗谷郡ニ於テ現ニ農家ノ安定セル地帯ハ十町步經營飼畜混同農業ヲ標準トス。
- 二、主畜農業經營ハ土地面積ノ八割ヲ畑地トシ飼料ノ充實竝ニ地力ノ培養増進ヲ圖ル爲更ニ畑地ノ三分ノ一ヲ綠作休閑トシ  
數ヶ年存置シ後輪作經營ス、耕馬ハ繁殖牝馬ヲ合シ二頭、乳牛四頭、小家畜四頭、雞三―四十羽ヲ飼養シ食糧飼料ノ自給  
ヲ圖ル。
- 三、飼畜混同農業經營ハ土地面積ノ八割ヲ畑地トシ更ニ畑地ノ四分ノ一ヲ綠作休閑トシ二ヶ年其ノ儘存置ス。



耕馬二頭、乳牛二頭、小家畜二―四頭、雞二十―三十羽ヲ飼養ス。  
 四、食糧作物ハ一人當約三反歩  
 飼料作物ハ大家畜一頭當約一町歩ヲ要スルモノトス。  
 五、作物ハ飼料作物及根菜類ニ重點ヲ置キ土壤改良ヲ實行シ赤クローバー、チモシト、ルタバカ、燕麥、馬鈴薯、甜菜、豌豆等ヲ選擇ス  
 六、農期間短ク土地重粘ナルヲ以テ特ニ優良農具ノ利用ヲ圖ルコト。  
 七、十五町歩經營主畜農業ニ於ケル輪作式(事例)次ノ如シ

種類	食料		飼料		販賣		計
	面積	種類	面積	種類	面積	種類	
第一區 麥類	九・〇反	裸麥、ライ麥、燕麥	四・〇反	燕麥、青刈ライ麥			一三・〇反
二區 麥類	二・〇	小麥	一・〇	麥(燕麥)	一〇・〇反	燕麥、馬鈴薯、甜菜	一三・〇
三區 根菜類	二・〇	玉蜀黍、黍、南瓜	一・〇	燕麥			一三・〇
四區 菽豆類	二・〇	豌豆、菜豆	一・〇	豌豆、燕麥	五・〇	亞麻、茶種	一三・〇
五區 麥類			八・〇	燕麥			一三・〇
六區 休閒牧草			一三・〇	牧草			一三・〇
七區 休閒牧草			一三・〇	牧草			一三・〇
八區 休閒牧草			一三・〇	牧草			一三・〇
九區 根菜類			五・〇	ルタバカ	八・〇	甜菜、馬鈴薯	一七・〇
計							

八、十町歩經營飼畜混同農業ニ於ケル輪作式(事例)次ノ如シ

種類	食料		飼料		販賣		計
	面積	種類	面積	種類	面積	種類	
第一區 麥類	五・五反	ライ麥、小麥、燕麥	四・五反	青刈ライ麥、燕麥			一〇・〇反
二區 根菜類			二・五	ルタバカ	七・五反	馬鈴薯	一〇・〇
三區 麥類 (開作ルビシ)	四・五	裸麥、菜豆、豌豆	四・〇	燕麥	六・〇	燕麥、亞麻	一〇・〇
四區 豆類			三・〇	豌豆、菜豆	二・五	馬鈴薯	一〇・〇
五區 麥類			一・〇	燕麥 (クローバー混播)			一〇・〇
六區 牧草			一・〇	牧草			一〇・〇
七區 牧草			一・〇	牧草			一〇・〇
八區 根菜類	二・五	玉蜀黍、蕎麥、其他			七・五	甜菜	一〇・〇
計							

九、既住農家ニシテ從業家族ニ比シ土地面積狭小ニ失シ經營ノ確立ヲ期シ難キモノニ對シテハ附近ニ於ケル未處分地民有未墾地等附近ノ狀況ヲ酌量シ個人又ハ團體的ニ對シ可及的ニ増地ノ方法ヲ講ゼムトス

北見郡農會農業地域設定調査資料

一、設定セムトスル地域名 斜網地方



關係區域 町村名	自然條件 (氣候、土、地)	經濟的社會的特徵 (市場、其他)	農業 現在概況	組織 獎勵目標	標準適正規模
斜里村 小清水村 網走町 女満別村 美幌町 津別町 以上六ヶ町村	氣候温暖ナルモ春季ハ低温多濕ニシテ部分的ニ往々風害ヲ被ルコトアルモ夏季特ニ秋季快晴多シ、地質概ネ第三期層火山灰ニシテ地勢傾斜多ク地味良好ト稱シ難ク、網走、小猿間其他河川流域ニ泥炭地アリ	網走美幌ヲ中心トシタル市場ヲ有シ小清水村ヲ除ク 交通至便ナリ	麥類馬鈴薯菜豆ヲ主トシ水稻、大豆等之ニ亞グ 耕馬二―三頭、耕作面積五―一〇町	麥類、馬鈴薯ヲ主トシ之レニ甜菜、亞麻、豆類ヲ取リ入レタル混同農業様式ヲ勵獎シツ、アリ、特ニ地力維持増加ニ意ヲ注ク	畑 六一八町 馬 二―三頭 乳牛 二―三頭 小動物增飼

二、設定セムトスル地域名 常呂郡地方

端野村 野付牛町 調子府村 置戸村 相内村 留邊藁町 常呂村 以上七ヶ町村	氣候前地方同様、地勢、地質共前地方ニ類似スルモ常呂川外各河川流域ハ稍々平坦ニシテ地味中庸ナリ	野付牛町ヲ中心ニ市場ヲ有シ常呂村ヲ除ク交通至便ナリ	薄荷、水稻ヲ主トシ麥類、菜豆之ニ亞ク、耕種作物トシテ蔬菜、藥草ノ栽培アリ 馬一―二頭、牛僅少、養鶏僅少	薄荷ノ更新、水稻ノ耐寒、品種ノ普及及冷温床ノ設置ヲ獎勵シ更ニ牛及養鶏其ノ他小動物ノ増殖ヲ計畫實施中ナリ	畑 四―五町 水田 三―四町 畑 五―六町 水田 三―四町 馬 一―二頭 牛 二―三頭 其他小動物
--	--	---------------------------	--	---	---

三、設定セムトスル地域名 紋別郡地方

雄武村 西興部村 興部村	氣候概ネ前地方同様ナルモ北部方面ハ宗谷、枝幸地方ニ類似スル所アリ	遠輕町、紋別町ヲ中心ニ市場ヲ有シ交通便ナリ、全地方ハ官行研伐	薄荷、馬鈴薯ヲ主トシ麥類、甜菜、亞麻等之ニ亞グ	薄荷、馬鈴薯ヲ主トシ之レニ甜菜、亞麻、麥類ヲ	畑 四―六町 馬 一―二頭 牛 二―三頭
瀧ノ上村 上渚村 渚滑村 紋別町 下湧別村 上湧別村 遠田村 生田村 佐呂間村 以上十二ヶ町村	地質、地勢 湧別川流域ニハ相當平坦ニシテ地味比較的良好ナルモノアルモ、他の大部分ハ緩波狀ヲ呈シ重粘地ニ加フルニ強酸性ヲ以テシ極メテ瘠薄ナリ、從ツテ未開地數萬町ニ及ブ	及各種鐵山等ノ爲メ勞働方面ニ多少ノ影響ヲ蒙リツ、アリ	耕馬一―二頭 先進農家ハ乳牛ヲ飼養シ混同農業ヲ營ミツ、アリ 小動物僅少	加ヘタル輪作形式ヲ取リ入レタル混同農業ヲ獎勵シツツアリ、特ニ重粘土ノ改良及酸性矯正ニ努メルト共ニ地力ノ維持増進ニ努メルモノトス	小動物ノ增飼 一部地方ニハ藥草、蔬菜ヲ取り入レントス



912  
80

昭和十五年十二月十日印刷  
昭和十五年十二月二十日發行

發行所 北海道農會

印刷所 札幌市南二條西五丁目  
其水堂金井印刷所

印刷人 金井恒喜

電話一七〇二番



912  
80



終